

家庭教育課程の卒業要件について

家庭教育課程長 中田雅敏

家庭教育課程の専門科目履修方法

家庭教育課程の専門科目の履修方法については、学生支援センター情報ページの「学習の流れ」の卒業要件で確認してください。

(1)八洲学園大学学習ガイド・募集要項について

「家庭教育課程の学び方」(10頁)で学習内容と、「共通基礎教育科目」「基幹科目」「共通専門教育科目」「専門科目」それぞれの科目群から卒業に必要な最低履修単位示されています。卒業に必要な単位数は上記四科目群から、「共通基礎教育科目」(20単位)、「基幹科目」(8単位)、「共通専門教育科目」(10単位)、「専門科目」(46単位)となっており、その他に「関連科目」(28単位)、「自由選択科目」(12単位)を加えたものが卒業に必要な124単位です。

区分	選択必修	関連科目	自由選択科目	計
	単位数	単位数	単位数	
共通基礎教育科目	20			
基幹科目	8			
共通専門教育科目	10	} 28	} 12	
専門科目	46			
計	84	28	12	124

- (2) 家庭教育課程の専門科目は、第1群から第4群までそれぞれ4つの分野に分類されています。この分類は、家庭教育アドバイザーを取得するための履修科目として分類してあります。家庭教育アドバイザー(学会呼称：家庭教育師)を取得するためには、上記の専門科目から46単位を取得することが必要です。ただし、大学から与えられる「保育期アドバイザー」「児童期アドバイザー」等、単独のアドバイザーを目指す場合は、科目数が少ないことなどがあり、この中に「卒業研究演習」と「卒業論文」も専門科目として含めて計算することもできます。
- (3) 学会認定の「家庭教育師」を取得する場合は、専門科目46単位の修得が必要となりますので、「卒業研究演習」と「卒業論文」は専門科目ですが、これらの科目以外の専門科目として履修した場合、専門科目のカウントは、46単位+「卒業研究演習」(2単位)+「卒業論文」(4単位)で、52単位としてカウントされます。
- (4) 以上のように「卒業研究演習」と「卒業論文」は、専門科目としての扱いとなります。平成19年1月19日(金)に行いました卒業論文履修に関するガイダンスで「どの科目分野に入るか」という質問に対して、後日お答えすると言いましたが、この点お詫び申し上げ、「専門科目」の科目分野としてカウントされることをお伝えいたします。
- (5) なお、上記の件は、『八洲学園大学学習ガイド募集要項』に詳述してございますので、ご覧いただいて、ご確認いただけますようお願い申し上げます。